

決算特別委員会各分科会における概要

【商工労働観光分科会】

- ◆ 10月23日（月）開会 午前10時00分
（休憩 午前11時08分～午前11時15分）
閉会 午前11時45分
- ◆ 10月24日（火）開会 午前10時00分
（休憩 午前10時51分～午前10時58分）
閉会 午後 0時10分
主 査 青木 彰榮（県政クラブ）
副主査 柴田 正人（自由民主党）
委 員 石川 渉、橋本 彩子、伊藤 香織、高橋 弓嗣

◆付託案件

- ・令和4年度山形県一般会計歳入歳出決算中 本分科会所管分
- ・令和4年度山形県小規模企業者等設備導入資金特別会計歳入歳出決算
- ・令和4年度山形県土地取得事業特別会計歳入歳出決算

◆審査内容

付託決算の審査にあたっては、産業労働部長、観光文化スポーツ部長及び労働委員会事務局長から決算の概要及び主要な施策の成果と実績について、関係課長から内容の詳細について説明を聴取し、質疑を行った。

◆採 決

付託された3決算については、全員異議なく、いずれも認定すべきものと決定した。

（主に議論された項目）

- ◇ 地場産業・伝統工芸品等産業における就業体験プログラムの概要及び実施状況について。また、就業後も支援の取組みが必要と考えるがどうか
- ◇ 障がい者就業応援事業の概要及び事業実績について。また、全国的に低水準となっている本県民間企業の障がい者実雇用率をどのように引き上げていくのか
- ◇ 観光分野における二次交通の充実を図るためには、関係機関との連携を強化するとともに、隣県等との広域的な連携も視野に入れて整備を進めるべきと考えるがどうか
- ◇ 少年少女発明クラブの設置状況について。また、空白地域の解消に向けた支援の取組みについて
- ◇ ポストコロナに向けた観光施設支援事業の採択実績及びその内容について
- ◇ 文化財保護事業の概要及び執行実績について。また、国・県指定文化財の保存修理等の負担が増加している状況を踏まえ、支援の更なる充実を図っていくべきと考えるがどうか